

【ボランティア活動奨励賞】

「エコ」をキーワードにした
ウェブサイトを活用したまちづくり

特定非営利活動法人 森ノオト



「あおばを食べる収穫祭」の様子

の啓発活動と、「市民参加型メディアのノウハウ普及」。

食のエコは、青葉区の委託事業「3R夢（スリム）なクッキング講座」で、食品廃棄物を減らしながら美味しく栄養価の高い食事をエコクッキングで作るノウハウを市民に提供。今年度より乳幼児の母親を対象にした「こども弁当 de エコクッキング」などを展開している。

住のエコは2015年より行っている「エコDIYまちづくりプロジェクト」で、住まいの省エネにつながるグリーンカーテンや土間づくりなどのDIYワークショップを実施。小学生向けの省エネ&創エネ教育「キッズエレキラボ」や、神奈川県消費者力アップ県民提案事業による「おうちエネルギーワークショップ」を県内全域で開催する。

衣のエコでは古布をアップサイクルして、デザイン性の高い生活雑貨を作る「森ノファクトリー」を始動。

現在の事業の柱は「衣食住のエコ」

これらの活動の告知と成果報告を、

メディアを通じてレポートする市民メディアのノウハウを横展開しようとして、「地域をつむぐローカルメディア講座」を行っている。

活動を始めたきっかけ

理事長の北原まどかはNPO設立前に環境メディアの記者をしており、資源や環境が持続可能でないことに強い危機感を持っていた。元々のキャリアが地域新聞の記者に始まり、エコ住宅雑誌の編集部、食の安全安心を提案している生協の記者や、地球温暖化問題の専門メディアの記者として全国を飛び回っていたが、2009年1月に長女を出産し、「地域に密着しながら地球環境問題の解決につながるムーブメントをつくる」と決意。

環境問題解決の行動指標である、「Think Globally, Act Locally」

（地球規模で考え、足元から行動せよ）を自ら実践するために、地域企業に企画提案して「横浜あおば発・地元のエコ発見メディア 森ノオト」を同年11月に立ち上げる。平日毎日更新する精力的な取材・編集活動を通じて、地元の主婦を中心に共感を集め、2010年8月に「森のリポーター」として一般の主婦による取材活動を始めた。

これが、市民を巻き込みながらエコを実践し、情報発信する現在のスタイルの礎になる。

2011年4月に生活者視点でエネルギーについて考え行動する市民団体「あざみ野ぶんぶんプロジェクト」を立ち上げ、エネルギーに関する映画上映会や発電事業者を招いた勉強会、政治家との対話などを重ねていく。この活動を通じてメディアでの情報発信だけでなく、イベント開催や啓発事業のノウハウと政策提言の実績を蓄え、地域でのリアルなネットワークを広げていく。

2011年11月に2周年パーティーを開いた際に、約130名が集まり、コミュニティが育っているのを実感。

1年かけてNPO設立の準備をし、2013年1月7日にNPO法人として登記した。それ以降、NPOの会員拡大、地球温暖化防止や省エネの重要性を伝える啓発ワークショップを定期的に開催し、地産地消のマルシェ事業では2,000人も来場者を得るなど、着々と認知と共感の輪を広げている。

2013〜2014年度には横浜市と東急電鉄が進める「次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト」に参画し、産官学民連携でのまちづくりに

関わり、2014年9月に姉妹団体「非営利型株式会社たまプラーザぶんぶん電力」を設立。市民活動を事業化して運営を持続可能にする方向性を模索している。

活動の実績

森ノオトが注目を集めたり評価を受ける一つの理由に、30代の女性を中心となつて精力的に地域活動を行っているという点が挙げられる。特にエコ分野では、「美味しい、可愛い、楽しいエコ」をうたつて、エコに関心の低い層へのアプローチを徹底している。

具体的事例として、2013年より毎年11月23日に開催している、地産地消とオーガニック、リユースをキーワードに、地元（青葉区）の農家、飲食店、菓子製造業、園芸店等を25店舗ほど集めたマルシェ「あおばを食べる収穫祭」が挙げられる。地元・藤が丘商店会の協力を得て、チラシを1万部配布し、毎年2,000人ほどの来場者を得ている。提供する飲食物に関してはリユース食器を使い、参加者だけではなく出店者にもイベント時のごみ排出について考えるきっかけを提供している。食器返却時に食器を拭いて回収するブースの運営は地元の小学

生が担当することで、生きた環境学習の場をつくつていく。2年目からはマイ食器持参を呼びかけて、13%がマイ食器を使って飲食を楽しんでいる。こうした取り組みの結果、2,000食が出るイベントながらごみの排出量は家庭用45リットルのごみ袋1つのみ。

楽しく、おしゃやれで、美味しいイベントに参加していたらエコ行動に巻き込まれていた、不特定多数が来場するイベントでもリユースやエコの仕組みを徹底すれば大きな成果が出るということ。「見える化」している。

青葉区役所から委託を受けている「3R夢（スリム）なクッキング講座」では、台所の生ごみを削減してごみ焼却におけるエネルギー消費量を減らすためのエコクッキング術とレシピを伝えていく。レシピの試作段階で写真を区報に掲載し、「美味しそう！」「おしゃやれ！」な雰囲気を出して集客効果を高めている。参加者のアンケートで評価も高く、2016年度には「ヨコハマ3R夢推進者表彰」を受賞した。今年度は組織基盤強化のおかげで、事業数が飛躍的に拡大し、年間通じて100イベント、4,800人の集客を得た。一つひとつのイベントのアンケートでの満足度分析、広報効果分析によ

り、「効果的にエコが広がる」ための検証を行っていきたい。

奨励賞を受賞して

2015年度は森ノオトにとって大きな節目となる一年だった。2015年1月に事務局を設けて、神奈川県ボランティアACEプログラムにチームで参加し、森ノオトの中期経営計画を定めた。これにより、今足を固めるべき事業、今後伸ばしていく事業が明確になり、スタッフの役割分担や人材育成の目処が立った。その矢先に奨励賞受賞の報を受け、大きな励みになったとともに、新規事業開発のための土台固め、顧客管理システムの導入など、団体の飛躍の基盤作りにつながっている。

2016年度は大型の助成案件が決まり、常勤3名体制、事業規模も2倍ほどに成長した。

森ノオトの大きな方向性としては、「地域密着でエコ推進」と「市民参加型メディアの横展開」を進めていくが、前者は担当スタッフが責任をもって事業実施できる体制になりつつある。

後者は今後、企画提案等を通じて、地域住民自らが積極的に街に出て、地域の課題やニーズを発掘し、地域のネ

ットワークを作ることにつながる「取材」と「発信」のノウハウを体系化し、神奈川県地域性にあつたマーケティング手法を確立していきたいと思う。環境課題は生活者にとってまだ優先度が低いのが現状。神奈川の県民力を高めることで、自らが課題を発見して行動する市民参加型社会を作ることが、すなわち環境と調和した社会を作ることにつながると思つて活動している。

<団体概要>

[団体名] 特定非営利活動法人 森ノオト
 [活動開始時期] 2009年11月7日
 [代表者] 北原 まどか
 [会員数] 103人(平成28年10月)
 [HP] <http://morinooto.jp>
 [活動地域] 横浜市青葉区
 [活動概要] 生活に密着したエコ情報を発信するメディア「森ノオト」を中心に、衣食住のエコ啓発活動と、市民参加型メディアのノウハウの普及を行っている。

【ボランティア活動奨励賞】

外国人をはじめとした弱い立場の子どもたちを

対象にした学習・外国人支援活動

NPO法人 教育支援グループE.d. ベンチャー



「Friends☆star」の様子

④外国人の子ども理解のための学習会

外国人子どもたちの支援のために必要な知識・理解について、「ボランティア養成講座」という形で学習会を開催しています(年2回)。

(2)主な外国人支援活動

①エステレージャ・ハッピー教室

外国にルーツをもつ小中学生の子どもたちに学習支援を行っています(週1回)。

②保証人事業・基金の会

外国人の子どもたちで奨学金等の確保のためのお手伝いをしています(適宜)。

③教育相談

外国にルーツをもつ子どもの教育に関わる相談を受け、学校や行政等の機関と連携して、解決の方向を探るお手伝いをしています(適宜)。

(3)主な普及啓発活動

社会における弱い立場の者に焦点をあて、そのような状況を生み出す社会構造を問い直すために、教育講演会(年1回)、E.d. ベンチャより(ニュースレター、年6回)、さらに、東日本大震災においては独自に支援活動を展開するなどの活動を行ってきています。

活動を始めたきっかけ

1990年代に多くのインドシナ難民が定住した大和市では、外国籍の子どもたちの多くが地域の学校に通うことになりました。その頃は、まだ決して多いとはいえなかった外国人の子どもたちが、日本の学校や社会での生活に大きな不安を持ちながら生活していました。2001年に、そのような子どもたちが集まって立ち上げた団体が、外国人の子どもたちによる自治的運営組織「すたんどばいみー」です。

しかしながら、子どもたちのだけの団体であるために、かれらの願いや思いがなかなか日本人に広がっていかないという閉塞感を引き受けるため、大人たちが集まり始めたのが前身です。

その後の日本社会は、新自由主義が浸透し、競争原理至上主義に学校も子どもたちも巻き込まれ始めました。

そして、格差社会が日本の中でも当たり前となり始めたといってもいいでしょう。そのような中で子どもも支援は、外国人の子どもたちだけでなく、「社会資源を持たざる弱い立場の子どもたち」すべてへとその射程を広げる必要性が共有されることとなり、2007年に新たに教育支援グループE.d. ベンチャーを立ち上げ、2010

主な活動内容

NPO法人教育支援グループE.d.(エド)・ベンチャーは、市民、退職教員・現職教員、研究者らが集まり立ち上げた社会教育団体です。

目的は、子どもたち、学校、先生、保護者らが直面する問題を社会構造に照らして理解・共有し、とくに弱い立場に置かれた子どもに焦点をあてつつ、すべての子ども、先生や学校が明るい

未来を創造するためのお手伝いをする
ことです。

主な活動地域は大和市です。
活動はニーズにあわせて展開しているために多岐にわたっており、主なものは、次のようになります。

(1)主な学校支援活動

①理論学習会

学校で起こっている問題や、学校を取り巻く社会、これから子どもたちが進んでいく社会の状況など、学校に関わっていくうえで教育関係者として考えておく必要があると思われるテーマについて学習しています(月1回)。

②授業研究会

学校の現職教師を中心に、社会的弱者に焦点をあてた授業実践のあり方を検討しています(月1回)。

③産休・育休・働くママのための学習会

子育てをしながら働くことに焦点をあて、ママならではの問題やママの時間にあわせた学習会を行っています(月1回)。

年に法人化しました。

このあたりの詳しいことは、清水睦美・すたんどばいみー編著『いちよう団地発！外国人の子どもたちの挑戦』（2009年、岩波書店）に詳しく記載されていますので、ご興味がある方はご覧ください。

活動の実績

E d. ベンチャーの活動の特徴は、「社会資源を持たざる弱い立場の子どもたち」へ教育的支援をねらいつつ、そこに見いだされるニーズにあわせて活動を柔軟に変えるフットワークの軽さと、活動に関わっている多様な人材のネットワークがあることです。

例えば、外国人支援活動として行っている外国にルーツをもつ子どもたちの学習支援教室「エステレージャ・ハッピー」は、毎週土曜日に定期的に開催されています。

しかし、その中に特に「生きにくさ」を抱えているような子どもがいる場合には、保護者や学校との連携を検討するために、教育相談活動が展開されます。親の日本語が十分でない場合には、ネットワークを駆使して通訳者を探し、子ども・保護者・学校や行政間での情報共有ができるように配慮をします。

さらに、そのような活動の中で、外国にルーツをもつ子どもたちが抱える課題については、学校支援活動の「外国人の子ども理解のための学習会」で取り上げ、他のケースでも応用できるように課題や問題の共有を図ったりしています。

別の例では、子育てをしながら教師を続ける会員の要望から、産休・育休中の教員を中心として休暇後の復帰の壁をできるだけ少なくするため、学校支援活動として学習会を企画し活動を始められています。ここでの学習会は、産休・育休中の教員のニーズに応じた学習を行うという側面と、他方、理論学習会で検討されている内容を情報として提供するという両側面を合わせもつことで、より広がりのある学習会になることが目指されています。

このようなフットワークの軽さと多様な人材のネットワークが評価され、本年度6月からは、神奈川県厚木保健福祉事務所の生活保護等世帯学習支援・居場所づくり事業の業務委託を受けて、愛川学習支援教室「Friends☆star」を、外国人当事者団体「すたんどばいみー」との連携で始めました。

現在では当初の予想を大きく上まわ

る人数の子どもたちが毎週の教室を楽しみにしている様子が見え、委託元からも高い評価を受けています。

奨励賞を受賞して

本法人は主な収入源を会費でまかなっており、多くの活動を無償のボランティアで担っています。そのため財政的に活動を制限しなければならぬことが多くあります。

そのような中で、今回の奨励賞の受賞によって、広報誌の発行やHPの更新などの普及啓発活動の多くを外注することができました。

その結果、子どもたちや教師に直接関わる活動にかける時間を増やすことができたことは、大きな成果となっています。

今後の大きな課題は、団体設立10年を迎え、立ち上げ世代が高齢化し、次世代への引き継ぎ時期を迎えているということです。

格差の固定化が心配される社会状況の中で、世代交代しつつも「社会資源を持たざる弱い立場の子どもたち」を中核とした多様な活動を展開できるかどうか、当法人の真価が問われるところだと思えます。

<団体概要>

- [団体名] NPO法人 教育支援グループE d. ベンチャー
- [活動開始時期] 2007年9月
- [代表者] 浅沼 蓉子
- [会員数] 121人(平成28年9月)
- [HP] <http://edventure.jp/>
- [活動地域] 大和市、厚木市、愛川町等
- [活動概要] 社会資源を持たない弱い立場の子どもたちや、外国にルーツのある子どもたちに対する教育支援など多様な活動を行っている。



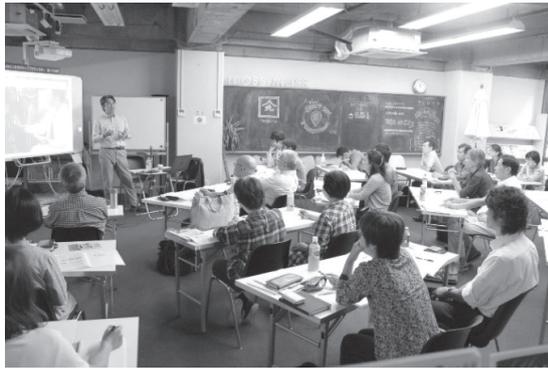
「エステレージャ・ハッピー教室」の様子

【ボランティア団体成長支援事業】

NPO支援機関の専門力強化および、NPOと
支援機関のマッチングによる中長期計画策定支援

関内イノベーションイニシアティブ株式会社

ここに注目
参加団体が悩み、考えながら、
なりたて姿を模索し、中長期
計画を策定した。



講義の様子

団体の事業概要

関内イノベーションイニシアティブ株式会社は、横浜市都市整備局のモデル事業として関内地区の地域活性化事業に端を発し、横浜エリアをもつとオ

モシロク・豊かな街にしていくために、志ある企業が集い、出資することで立ち上がった。
地域の課題を解決したい社会起業家やNPO、ITベンチャーやデザイナーなど、多様なレイヤーの起業家やプロジェクトリダーが、ここ横浜であららしい一歩を踏み出すためのワークスペースとして、関内にある「ワークスペース&シェアオフィス」mass x mass 関内フューチャーセンター“の運営を行いながら、国や自治体とも連携し、ソーシャルビジネスの起業家を育成するスクール事業の企画運営を行っている。
(1) ソーシャルビジネスを中心とした起業家等の育成・支援に関する事業
(2) ビジネスインキュベーション施設の開設・運営に関する事業
(3) ビジネスインキュベーション施設等のネットワーク形成に関する事業 など

応募のきっかけ

当社は社会起業家育成講座を201

0年から行い、通算で90名を超える修了生を輩出しており、その中で起業する人たちの多くは、株式会社やNPO法人を選択するケースが多い。起業する方の性質や事業内容等を総合的に考えて法人格の選択をすべきだが、一部の専門家に「NPO法人をとるのは時間もかかるし、毎年の事業報告も面倒」ということを言われ、一般社団・財団法人や営利法人を選択するケースも多々ある。

また、ボランティア団体・NPOを取り巻く環境は変化してきていると感じる。

大きな社会変革・経済的変化が起こっている今、地域での雇用創出、経済発展、アドボカシー等、社会的脆弱層のセーフティネットとしての役割、存在価値が注目され、企業組織に代わる新しい受け皿としてのNPOが必要とされている。一方でNPO組織内に、現在の社会的変化に敏感に対応でき、持続可能な組織を築いていく人材不足が懸念される。同様に支援組織側のクオリティアップも必要である。
このようなNPOの多様化、社会からの期待値アップを受け、将来を担う強いボランティア団体の育成が必要だと思ひ応募に至った。

成長支援事業の目的・内容

神奈川県がより良い地域になるために、持続可能なNPOのビジネスモデルや、海外におけるNPO関連施策などについての共通理解を深め、さらにボランティア団体の中長期計画策定を通して、効果的な支援策の創出、支援体制の確立を目的とし、次の2つの事業を実施した。

(1) 「NPO支援機関スタッフセミナー」の開催

県内のNPO支援機関を対象に、モデルとなりうる力強いNPOの共通理解を高めるため、海外事例を含むNPO関連施策、NPO法人の認証、クラウドファンディング等の最先端を学ぶ機会の提供をした。講座と同時にワークショップの時間を設け、その日の講座で学んだこと、現状の課題等の共有を行った。

(2) 「かながわボランティアエースプログラム」の開講

7月6日から募集を開始、8月末までに第1次・第2次選考を経て12団体の支援対象団体を決定した。本プログラムは約半年の期間を設け、多摩大学総合研究所の松本氏と共に、組織力強化を図る全4回講座を実施。前半4ヶ月は講座期間になり、団体の現状把

握（ビジョン、ミッション、強みと弱み、環境の変化等）や真の顧客等の捉え直しを行った。その間、県内のNPO支援機関と連携しながら、12団体の伴走支援を実施したことが特徴の一つである。後半2ヶ月では、収支計画の追加講座や個別相談会を行いながら、中長期計画策定を進め、2月に成果報告会を開催した。

成長支援事業の成果・効果

（1）「NPO支援機関スタッフセミナー」の開催

この事業では、県内のNPO支援機関のスタッフ、市区町村の担当課スタッフに参加を呼び掛けた。参加者はのべ25団体26名である。全3回の講座を通じての気づきや日常の業務で感じている課題を他市区町村のスタッフと共有でき、横のつながりをつくることが出来たことが大きな成果である。

（2）「かながわボランティアエースプログラム」の開催

このプログラムでは、4名のNPO支援機関スタッフが伴走支援に参画して下さり、参加団体数12団体のうち10団体が5年先までの中長期計画を策定することができた。各団体の具体的計画内容は、組織体制の見直し、新規事業の創出、助成金申請へのチャレンジ、

法人化の決定等である。残念ながら計画までたどり着かなかった団体もあるが、このプログラム全体の成果として、事業分野や地域、世代間を超えて、人材育成や資金調達、会員制度等、団体の抱える課題に共感し、アドバイス・応援し合えるような関係性が築けた。

また2月に開催した成果発表会では、作成した中長期計画の発表を行った。そこでは半年間ともに走り抜けた仲間から、それぞれの団体の得意分野を活かしてコラボレーションしたいという感想が多く聞こえ、パパの団体にはママの団体から、ママの団体にはアクティブシニアの団体からアドバイスがあり、とてもよい成果発表会となった。

また来場者から、「発表会を通じて、各団体が質問やコラボの申し出などで次の段階にまで進んでいく様子が素晴しかった。県の事業として続けていただきたいですし、次回はより伴走支援する中間支援組織の支援スキルのサポートも強化してほしい」という感想もいただいた。

支援対象団体の声

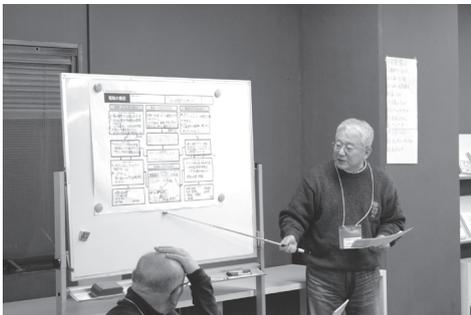
◎北原まどかさん

〔特定非営利活動法人森ノオト〕
森ノオトは団体設立3年目で、法人として規模を拡大しながら組織運営を

目指していくかの岐路に差し掛かっていました。チームの3人でオンラインオフライン使い分けながら乗り越える過程そのものが「森ノオトとはなんぞや」をそれぞれに腹落ちさせることができました。

松本先生のマーケティングの視点が、誰が顧客で、顧客が森ノオトと出会うことでどう変わるのかを意識するきっかけになりましたし、現在の強み、現在の事業、新しい強み、新しい事業を掛け合わせるマトリクスは、森ノオトが今取り組むべきこと、今後展開していくことの整理につながり、いつも座右におき見返しています。

その他団体の紹介はホームページに掲載しています。（下記、実施した事業の詳細HP参照）



成果発表の様子

[事業名] NPO支援機関の専門力強化および、NPOと支援機関のマッチングによる中長期計画策定支援

[実施主体] 団体名：関内イノベーションイニシアティブ株式会社 設立：平成22年

代表者：代表取締役 治田 友香

住所：〒231-0003 横浜市中区北仲通3-33 関内フューチャーセンター

E-mail：info@massmass.jp HP：http://massmass.jp/

実施した事業の詳細HP：http://massmass.jp/tax_project/voluntary_ace_program/

[実施年度] 平成27年度 委託費：7,200,000円

[事業内容] 1) 支援機関スタッフ、市区町村NPO担当者を対象にしたセミナーの実施
2) NPOの組織力強化のため、中長期計画策定支援プログラムの実施

[実施実績] 1) 全3回、のべ25団体36名が参加 2) 12団体が参加

これまでの基金21対象事業・団体等一覧

※こちらは、負担金等交付最終年度時点の情報です(現在事業を実施している団体については、平成29年2月末時点)。

1 協働事業負担金

番号	事業名	申請者(団体名)	所在地	交付額 (単位:千円)	事業 実施年度
1	引きこもり青少年支援の協働ネットワーク事業	特定非営利活動法人 リロード (楠の木学園)	横浜市港北区	44,640	H13~H17
2	市民による里山の保全と活用のシステムづくり	特定非営利活動法人 よこはま里山研究所	横浜市南区	20,500	H13~H17
3	小網代の森保全推進事業	特定非営利活動法人 小網代野外活動調整会議	横浜市港北区	10,290	H13~H17
4	女性のための緊急一時保護施設(シェルター)と外国人に対する相談事業	特定非営利活動法人 女性の家 サラワ	横浜市青葉区	37,000	H13~H17
5	犯罪や災害の被害者等に対する支援事業	特定非営利活動法人 神奈川被害者支援センター	横浜市中区	31,300	H14~H18
6	医療通訳派遣システム構築事業	特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ	横浜市神奈川区	48,400	H15~H19
7	強迫的ギャンブラー(ギャンブル依存症者)の回復と社会復帰のための事業	特定非営利活動法人 ワンダーポート	横浜市瀬谷区	38,620	H15~H19
8	地球温暖化対策地域学習センターの設置と体験型普及啓発・環境教育の仕組みづくり	特定非営利活動法人 ソフトエネルギープロジェクト	横浜市中区	43,300	H15~H19
9	アートを活用した新しい教育活動の構築事業	特定非営利活動法人 STSスポット横浜	横浜市西区	43,375	H16~H20
10	野生動物救護に関する支援事業	特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部	川崎市中原区	25,000	H16~H20
11	不法投棄タイヤの収集・リサイクル事業	特定非営利活動法人 相模川倶楽部	平塚市	6,900	H16~H17
12	森林と都市生活者をつなぐ水源環境の保全・再生	特定非営利活動法人 緑のダム北相模	東京都世田谷区	23,500	H17~H21
13	行政相談窓口職員多言語対応&相談能力向上研修事業	特定非営利活動法人 かながわ外国人す まいサポートセンター	横浜市中区	14,300	H17~H21
14	地域の活性化・働きたい若者就労支援ネットワーク事業	特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか	横須賀市	42,206	H18~H22
15	野宿者に対する総合相談及びシェルター事業	特定非営利活動法人 湘南ライフサポート・きずな	藤沢市	49,235	H18~H22
16	外国につながりを持つ子どもへの教育・進路サポート事業	多文化共生教育ネットワークかながわ	横浜市南区	21,900	H18~H22
17	MSM健康支援センター事業	横浜Cruiseネットワーク	横浜市神奈川区	35,030	H19~H23
18	こども医療センター患者・家族滞在施設運営事業	特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ	横浜市南区	11,874	H19~H23
19	地域生活交通創出・再構築事業	特定非営利活動法人 かながわ福祉移動 サービスネットワーク	横浜市港北区	19,100	H19~H23
20	子どものシェルター運営事業、居場所のない子どもの電話相談事業	特定非営利活動法人 子どもセンターてんぼ	横浜市港北区	50,000	H20~H24
21	高次脳機能障害ピアサポートセンター設立等支援事業	特定非営利活動法人 脳外傷友の会ナナ	横浜市青葉区	18,720	H20~H24
22	県営いちよう団地在住の外国籍住民に対する包括的入居サポート事業、及び入居サポート事例の普及事業	多文化まちづくり工房	横浜市泉区	24,225	H20~H24
23	デートDV(恋人間の暴力)防止のためのシステム構築事業	特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ	横浜市神奈川区	23,925	H21~H25
24	アレルギー児を学校・園、保育園、救急隊との連携で支える研修事業	特定非営利活動法人 アレルギーを考える母の会	横浜市旭区	7,800	H21~H25
25	摂食障害者等の地域における総合支援事業	特定非営利活動法人 のびの会	横浜市金沢区	38,812	H21~H25
26	がん体験者による、がん患者・家族のためのピアサポート事業	特定非営利活動法人 がん患者ネットワークジャパン	東京都文京区	15,233	H22~H26
27	映像・メディアコンテンツ制作による青少年育成支援事業	特定非営利活動法人 湘南市民メディアネットワーク	藤沢市	20,127	H22~H26
28	伝統芸能(祭囃子・神楽)伝承の普及・啓発事業~「祭の音」プロジェクト	横浜やっしや鯛	横浜市泉区	8,441	H22~H23
29	地域資源「ひと・もの・こと」を活用し、持続可能な社会づくりを目指す、湘南「みかんの木パートナーシップ」プログラム	特定非営利活動法人 湘南スタイル	茅ヶ崎市	24,300	H23~H26
30	二子山山系の自然保護協働事業	二子山山系自然保護協議会	葉山町	16,427	H23~H27
31	地域と学校によるいじめ防止推進事業	特定非営利活動法人 湘南DVサポートセンター	藤沢市	(22,521)	H24~H28
32	【課題部門】 男女共同参画型防災ネットワーク「アクティブ防災」事業	特定非営利活動法人 MAMA-PLUG	川崎市中原区	(24,639)	H25~
33	障がい児通学支援協働モデル事業	特定非営利活動法人 横浜移動サービス協議会	横浜市中区	(20,824)	H25~
34	神奈川県内ことばの道案内作成・提供事業	特定非営利活動法人 ことばの道案内	東京都新宿区	(28,370)	H25~
35	特命子ども地域アクタープロジェクト及び寄付による子どものまちづくり応援事業創設	NPO法人 ミニシティ・プラス	横浜市都筑区	(14,170)	H26~
36	【課題部門】 県内避難者との協働による支援ネットワーク構築事業	特定非営利活動法人 かながわ避難者と共にあゆむ会	横浜市中区	(19,171)	H26~H28
37	神奈川県の児童養護施設における子どもの自立支援事業	特定非営利活動法人 JAMネットワーク	横浜市神奈川区	(5,989)	H27~
38	性的マイノリティの子どもに理解のある支援者育成事業	特定非営利活動法人 Rebit	東京都新宿区	(6,882)	H27~
39	児童・生徒の防災教育推進事業	NPO法人 かながわ311ネットワーク	横浜市神奈川区	(8,875)	H27~H28
40	【課題部門】精神疾患や発達障がいのある若者の就学・就労を目指した自立支援	特定非営利活動法人 横浜メンタルサービスネットワーク	横浜市港南区	(14,022)	H27~
41	【課題部門】就職弱者の若者へのキャリア支援事業	NPO法人 多文化共生教育ネットワークかながわ	横浜市栄区	(9,507)	H27~
42	若年性認知症専門支援モデル構築事業	特定非営利活動法人 くるーぶ	川崎市高津区	(1,358)	H28

※ () 内は平成29年2月1日時点での交付額計

2 ボランティア活動補助金

番号	事業名	申請者（団体名）	所在地	交付額 (単位:千円)	事業 実施年度
1	精神障害者のノーマライゼーションを進める市民の会	都筑ハーベストの会	横浜市港北区	316	H13
2	子どものための人権教育普及事業	国際子ども権利センター	横浜市都筑区	3,322	H13~H14
3	犯罪防止活動強化及び県民啓発推進事業	特定非営利活動法人 日本ガーディアン・エンジェルス	東京都港区	4,000	H13~H14
4	横浜寿町地区近郊に住む生活保護受給者、路上生活者の医・衣・食・住にわたるセーフティネットの整備、及び自立自援できる環境作りの為の事業	特定非営利活動法人 さなぎ達	横浜市中区	5,505	H13~H15
5	母国語・母国文化教育事業	Grupo ABC	川崎市多摩区	1,332	H13~H15
6	在住外国籍住宅入居事業	かながわ外国人すまいサポートセンター	横浜市中区	4,400	H14~H16
7	障害児の放課後・休日の活動支援及び障害のある青年の自立支援事業	特定非営利活動法人 わになろう会	川崎市中原区	6,000	H14~H16
8	精神障害者による有機野菜販売訓練事業	精神障害者就労支援の会	横浜市西区	6,000	H14~H16
9	青少年に科学のおもしろさを知らせる手づくり科学館事業	特定非営利活動法人 発見工房クリエイト	川崎市麻生区	6,000	H14~H16
10	DV被害女性に対する相談事業と支援ボランティア養成事業	ウィメンズネットサポート	横浜市中区	2,904	H15~H16
11	不登校状態にある青少年への回復活動参加促進事業	特定非営利活動法人 そだちサポートセンター	平塚市	6,000	H15~H17
12	不登校児、要配慮児の義務教育終了後における進学面・就業面・日常生活面の自立を支援する事業	特定非営利活動法人 ライナスの会	藤沢市	6,000	H15~H17
13	子どもの里山体験学習を小中学校と連益させる手立て	鎌倉中央公園を育てる市民の会（山崎の谷戸を愛する会）	鎌倉市	1,984	H15~H16
14	発達障害を持つ幼児及びその家族への子育て支援事業	特定非営利活動法人 フトゥーロ	横浜市緑区	4,424	H16~H18
15	海苔つけ体験教室と干潟のある海の公園づくり事業	特定非営利活動法人 川崎の海の歴史保存会	川崎市川崎区	5,230	H16~H18
16	農業特区・NPO市民農園事業	特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会	小田原市	2,000	H16
17	里山里地保全事業	特定非営利活動法人 自然塾丹沢ドン会	秦野市	5,440	H16~H18
18	DV被害女性自立支援活動事業・中期シェルターの運営	特定非営利活動法人 女性・人権支援センター ステップ	横浜市	6,000	H16~H18
19	CAP（子どもへの暴力防止）教職員向けワークショップの提供事業	特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ	横浜市神奈川区	5,452	H17~H19
20	新作能「横浜（仮題）」を作る	横浜飛天双O能実行委員会	横浜市中区	2,000	H17~H18
21	青少年の非行克服支援及び悩む親たちへの援助活動事業	かながわ「非行」と向き合う親たちの会	横浜市青葉区	1,300	H17~H19
22	多文化共生事業	特定非営利活動法人 Ethnic Japan	横浜市旭区	275	H17
23	透析患者向け災害対策の策定	特定非営利活動法人 大和市腎友会	大和市	5,750	H17~H19
24	高大産連携による進路指導プログラムの開発・普及事業	特定非営利活動法人 NPOカタリバ	東京都中野区	3,250	H17~H18
25	在日コリアン生活文化資料館世代間交流事業	かわさきの在日高齢者と結ぶ2000人ネットワーク	川崎市川崎区	3,950	H18~H20
26	視覚障害者自立支援事業	特定非営利活動法人 パラボラジャパン	相模原市	2,150	H18~H20
27	湘南映像祭の開催及びメディア講座定期開催事業	特定非営利活動法人 湘南市民メディアネットワーク	藤沢市	3,945	H19~H20
28	海はバリアフリー セイラビリティ活動	特定非営利活動法人 セイラビリティ江の島	藤沢市	4,748	H19~H21
29	スクール・セクシュアル・ハラスメント防止ワークショップ	特定非営利活動法人 スクール・セクシュアル・ハラスメント防止関東ネットワーク	東京都中野区	1,228	H19~H21
30	日タイ協働による在日タイ人児童・生徒の学習支援事業	日タイを言葉で結ぶ会 ラックパーサータイ	横浜市金沢区	2,000	H20~H22
31	人身売買問題を通して“人権”について考える機会の創出事業	てのひら～人身売買に立ち向かう会	東京都大田区	2,143	H20~H22
32	コミュニティカフェ事業	特定非営利活動法人 ふらっとステーション・ドリーム	横浜市戸塚区	2,000	H21
33	外国につながる中高生の教科学習のための教材作成プロジェクトI~III	特定非営利活動法人 中学・高校生の日本語支援を考える会	横浜市泉区	4,254	H21~H23
34	食べ物依存症（摂食障害）者回復支援事業	ファルク	横浜市保土ヶ谷区	3,120	H22~H23
35	目に見えない軽度の発達障害をもつ子どもたちとその親御さんへの支援	特定非営利活動法人 発達サポートネットバオバブの樹	茅ヶ崎市	3,303	H22~H24
36	「NPO見本市」プロジェクト	特定非営利活動法人 藤沢市市民活動推進連絡会	藤沢市	2,050	H22~H24
37	障がい者のための定期乗馬会	特定非営利活動法人 RDA横浜	横浜市港南区	5,280	H22~H24
38	在日外国人子どもたちの「居場所」づくりと教育・生活相談・「支援」事業	特定非営利活動法人 在日外国人教育生活相談センター・信愛塾	横浜市南区	6,000	H22~H24
39	『視覚障害者の漢字学習（中学校編）』冊子作成	点字学習を支援する会	横浜市神奈川区	1,850	H23
40	難病の地域生活支援をめざした交流・研修事業	特定非営利活動法人 サポートKAZE	小田原市	4,575	H23~H25
41	病院の子どもに笑いを届けるホスピタル・クラウン活動	特定非営利活動法人 日本ホスピタル・クラウン協会	名古屋市中村区	1,770	H23~H24

2 ボランティア活動補助金 (続き)

番号	事業名	申請者(団体名)	所在地	交付額 (単位:千円)	事業 実施年度
42	発達障がいに端を発する学習困難生徒への学習支援と、その教授法・教材・教具の研究・開発・実践	学習サポート・スコラ	横須賀市	6,000	H24~H26
43	音楽と子育てする幸せ事業	特定非営利活動法人 ハッピーマザーミュージック	横浜市港北区	3,672	H24~H26
44	軽度の発達障がい児に対する療育相談事業及び保護者支援	特定非営利活動法人 厚木なのはな	厚木市	2,070	H24~H26
45	たのしい子どもの科学・暮らしの教室	特定非営利活動法人 かながわ子ども教室	横浜市戸塚区	2,250	H25~H27
46	アウトリーチ型よりそい相談・支援事業	特定非営利活動法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン	茅ヶ崎市	1,160	H25~H27
47	「小規模保育」の認知拡大と保育の質の確保	特定非営利活動法人 全国小規模保育協議会	横浜市青葉区	4,750	H25~H27
48	社会的に弱い立場にいる若年層の自立支援に向けたポップカルチャーの活用	特定非営利活動法人 コス支援会	横浜市鶴見区	2,888	H25~H27
49	発達障がい児に関わる教科学習教材データベース化事業	特定非営利活動法人 まなの樹	川崎市宮前区	(5,600)	H26~H28
50	女性生活再建のための支援事業	特定非営利活動法人 ウイメンズハウス・花みずき	川崎市多摩区	3,000	H26~H27
51	外国につながる子ども・若者の教育機会の保障のためのプロジェクト	特定非営利活動法人 ABCジャパン	横浜市鶴見区	(6,000)	H26~28
52	神奈川リフレッシュプログラム	福島子ども・こらっせ神奈川	横浜市磯子区	900	H27
53	18歳で就職自立を目指す若者への就労支援	特定非営利活動法人 フェアスタートサポート	横浜市中区	(3,543)	H27~
54	アルクヒューマンサポートセンター・アルク相談事業	特定非営利活動法人 市民の会 寿アルク	横浜市中区	(3,652)	H27~
55	小中学生向け ロボット・プログラミング教室事業	特定非営利活動法人 ロボロボ・Club	横浜市中区	(779)	H28
56	子どもの権利に関する小冊子作成事業	NPO法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ	横浜市鶴見区	(468)	H28
57	高校図書館内居場所カフェ事業「びっかりカフェ」	特定非営利活動法人 パノラマ	横浜市中区	(1,453)	H28~

※ () 内は平成29年時2月1日時点での交付額計

3 ボランティア活動奨励賞

番号	団体名等	所在地	主な活動内容	副賞金額 (単位:千円)	対象 年度
1	信愛塾	横浜南区	在日外国人の子ども達への交流・学習支援	800	H13
2	寿支援者交流会	横浜市中区	野宿生活者への訪問活動(パトロール)、交流・学習会活動	800	
3	アジアの女性と子どもネットワーク	横浜市中区	タイ山岳民族の子ども達の就学援助・学校建設支援、HIV感染の予防啓発教育	800	
4	特定非営利活動法人 パーソナルサービスセンタートムトム	茅ヶ崎市	地域の障害児・者の生活・余暇活動支援	800	
5	フリースペース たまりば	川崎市高津区	「子どもと大人」の居場所づくり	800	
6	リリーフクラブ	横浜南区	社会的弱者に対する住環境改善支援	800	H14
7	子育て支援グループ ゆめこびと	藤沢市	子育て中の親への支援活動	800	
8	インドシナ難民の明日を考える会	東京都	在日インドシナ難民への日本語・学習指導、インドシナ本国(主としてカンボジア)の恵まれない方々への支援	800	
9	ボランティア会 ランパス	横浜市旭区	病院に来る患者及びその家族を対象とした支援活動、病院での行事の開催	800	
10	カラバオの会(寿・外国人出稼ぎ労働者と連帯する会)	横浜市中区	外国人労働者の労働相談活動	800	
11	有川百合子	横浜市戸塚区	丹沢大山国定公園のゴミ撤去活動、自然保護活動	400	H15
12	特定非営利活動法人 ままとんきつず	川崎市多摩区	子育て支援を必要とする親子・関係者に対する支援活動	800	
13	特定非営利活動法人 川崎水曜パトロールの会	川崎市川崎区	川崎市内の野宿者のパトロール活動、病弱者への個別訪問活動、野宿者との交流事業	800	
14	特定非営利活動法人 ベガスの家	足柄上郡山北町	子どもを対象とした自然体験事業、子どもの健全育成活動	800	
15	サルサガムテープ	茅ヶ崎市	障害を持つメンバーの音楽活動による自立支援、音楽に興味を持つ障害者へのサポート活動	800	
16	コトバノアトリエ	東京都板橋区	言語表現のワークショップ等を通じた青少年の育成活動	800	H16
17	特定非営利活動法人 I Love つづき	横浜市都筑区	地域の調査等を生かしたまちづくり活動	800	
18	特定非営利活動法人 聴導犬育成の会	鎌倉市	聴覚障害者のための聴導犬育成・普及活動	800	
19	特定非営利活動法人 かわさき自然調査団	川崎市宮前区	川崎市全域の自然調査を通じた環境保全活動	800	
20	平間わんぱく少年団	川崎市中原区	和太鼓を通じた青少年の居場所づくりや育成活動	800	
21	ジョブコーチプラス1	横浜市青葉区	知的障害児・者援護就労活動	800	H17
22	多文化まちづくり工房	横浜市泉区	日本語学習支援・多文化共生の促進活動	800	
23	劇団湘南山猫	藤沢市	童話や民話、民族楽器演奏を取り入れた音楽劇など、オリジナル劇公演活動	800	
24	ほっと茅ヶ崎準備室	茅ヶ崎市	消費者と商店会の連携によるまちづくり活性化活動	800	
25	よみきかせボランティアグループ おはなしばる〜ん	伊勢原市	読み聞かせによる子どもの健全育成活動	800	

3 ボランティア活動奨励賞 (続き)

番号	団体名等	所在地	主な活動内容	副賞金額 (単位:千円)	対象 年度
26	特定非営利活動法人 さなぎ達	横浜市中区	寿地区ホームレスへの支援活動、まちづくり活動	800	H18
27	特定非営利活動法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン	藤沢市	地域ネットワーク型福祉オンブズマン活動	800	
28	きこり会	相模原市	知的障害者共生促進活動	800	
29	特定非営利活動法人 AIDSネットワーク横浜	横浜市中区	エイズに対する予防啓発活動	800	
30	パレスチナのハート アートプロジェクト	相模原市	アートによるパレスチナ難民支援活動	800	
31	特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド	横浜市中区	子ども・若者の育ちを支えるための寄付プログラムの開発実施や県内NPOへの資金助成	800	H19
32	特定非営利活動法人 子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク	伊勢原市	電話相談を中心とした児童虐待防止活動	800	
33	カラカサン-移住女性のためのエンパワメントセンター	川崎市幸区	DV被害などの問題を抱える外国籍女性とその子ども達への自立支援活動	800	
34	特定非営利活動法人 よこはまチャイルドライン	横浜市保土ヶ谷区	子ども達の声を電話を通して受け止めるチャイルドライン活動	800	
35	精神保健ボランティアグループ ひびき	相模原市	精神障害者への居場所の提供を中心とした当事者間及び市民との「仲間づくり」活動	800	
36	宇宙船(不登校から学ぶ会)	横浜市栄区	不登校や引きこもりの子ども達とその親に対する支援活動	800	H20
37	特定非営利活動法人 平塚・暮らしと耐震協議会	平塚市	地域と連携した耐震補強の推進と地域力向上活動	800	
38	ステップ国際理解	横浜市戸塚区	国際理解、国際交流のための小中学校訪問活動	800	
39	エコサーファー	藤沢市	地域通貨の活用による地域活性化活動及び環境意識の啓蒙	800	
40	知的障害者スポーツクラブ アスリートクラブ藤沢	藤沢市	スポーツを通じた障害者の健康増進、仲間づくり活動	800	
41	ヒロコ・ムトー(本名 相澤 絃子)	横浜市港北区	子どもたちへの、いじめの克服と生きる勇気を与えるための朗読講演活動	400	H21
42	なでしこ防災ネット	秦野市	家庭や地域を守る女性を対象にした防災知識や技能の普及	800	
43	こどもの本のみせ ともだち	横浜市港北区	子育てに悩む母親と子ども達のおはなし会・読み聞かせ活動	800	
44	特定非営利活動法人 峠工房	横浜市泉区	知的障害者、発達障害児・者、小・中学生への生活・学習支援	800	
45	GLOBE PROJECT	横浜市南区	スポーツを楽しむことを通じて社会問題の解決につなげる、スポーツイベント開催活動	800	
46	藤沢ウイングバスケットボールクラブ	横浜市旭区	知的障害者のバスケットボール支援活動	800	H22
47	朋ボランティアグループ	鎌倉市	障害者の就労の場を確保するための福祉製品販売店「手作り品の店 朋(とも)」の運営	800	
48	「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク	相模原市南区	子どもたちへ水俣を伝え、学ぶ場の提供	800	
49	日吉台地下壕保存の会	横浜市港北区	地域に残る戦争遺跡の見学により戦争と平和について考えてもらう活動	800	
50	紙芝居文化推進協議会	横浜市中区	紙芝居文化の普及推進活動	800	
51	全国訪問ボランティアナースの会キャンナス	藤沢市	看護師等による被災地支援活動	800	H23
52	ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf	三浦郡葉山町	点字付き絵本の作成及び図書館運営活動	800	
53	ヨコハマらいぶシネマ	横浜市港北区	視覚障害者の映画鑑賞支援活動	800	
54	CR I-Children's Resources International (チルドレンズ・リソース・インターナショナル)	平塚市	在日ブラジル人の支援・交流活動	800	
55	まちづくり工房「しお風」	中郡二宮町	地域コミュニケーション紙発行を中心にしたまちづくり活動	800	
56	特定非営利活動法人 寿クリーンセンター	横浜市中区	リサイクルステーション運営活動による就労の場の提供	800	H24
57	特定非営利活動法人 いこいの家 夢みん	横浜市戸塚区	ドリームハイツでの地域の交流サロン・介護予防活動	800	
58	特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会	秦野市	イランの障害者へ車椅子などの福祉機器を送る支援活動と交流活動	800	
59	瀬谷区知的障害理解啓発グループ ant mama	横浜市瀬谷区	知的障害の理解促進のための啓発活動	800	
60	神 幸雄	川崎市高津区	CPサッカー(脳性まひ者7人制サッカー)の普及活動と指導	400	
61	ALサインプロジェクト	藤沢市	「食物アレルギーサインプレート」の普及活動	800	H25
62	杉田 勇	横浜市神奈川区	伝統文化としての紙芝居の保存・発展と子どもの健全育成	400	
63	全国障害学生支援センター	相模原市中央区	障害がある学生のための情報提供・相談事業	800	
64	鎌倉子育てガイド	鎌倉市	子育て支援のためのHP運営	800	
65	愛川国際交流クラブ	愛川町	外国籍住民のための日本語教室や多文化交流会の運営	800	

3 ボランティア活動奨励賞 (続き)

番号	団体名等	所在地	主な活動内容	副賞金額 (単位：千円)	対象 年度
66	横浜障害児を守る連絡協議会	横浜市港北区	障害児の集団保育の場として各区に設立した「障害児地域訓練会」の総括及び交流促進	800	H26
67	特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会	大和市	インドシナ難民定住者等を対象にした日本語教室・学習室及び相談事業による自立支援	800	
68	特定非営利活動法人 ギャンブル依存ファミリーセンターホープビル	横浜市旭区	ギャンブル依存症患者向け回復施設の運営及び患者の家族に対する相談支援、ギャンブル依存症の啓蒙活動	800	
69	馬入水辺の楽校の会	平塚市	相模川河川敷を活用した自然環境保全活動	800	
70	NPO法人 子育て支えあいネットワーク満	川崎市中原区	地域で活動するスタッフ運営による地域子育てセンターの運営等による子育て支援	800	
71	特定非営利活動法人 やさしくなろうよ	海老名市	福祉バイオトイレカーによる障害者の外出支援及び啓発活動	800	H27
72	こども邦楽育成会	秦野市	邦楽を通じた感性豊かな子ども達の健全育成	800	
73	特定非営利活動法人 地球の木	横浜市中区	社会的に困難な境遇にあるアジアの人々に対する生活基盤を確立するための各種事業	800	
74	特定非営利活動法人 森ノオト	横浜市青葉区	「エコ」をキーワードにしたウェブサイトを活用したまちづくり	800	
75	NPO法人 教育支援グループEd.ベンチャー	大和市	外国人をはじめとした弱い立場の子供たちを対象にした学習支援活動、外国人支援活動	800	H28
76	すかっ子セミナー実行委員会	横須賀市	市内で活動する様々な市民団体による小中学生向け地域活動体験講座の開催	800	
77	特定非営利活動法人 ゆうの風	横浜市港北区	障害児者とその家族が安心して暮らせるための支援活動	800	
78	善行雑学大学	藤沢市	市民のための生涯学習講座の運営	800	
79	特定非営利活動法人 パーンロムサイジャパン	逗子市	タイのHIV/AIDSによる孤児たちのための生活・自立支援、エイズ予防等の啓発活動	800	
80	特定非営利活動法人 WE21ジャパン	横浜市中区	フェアトレード商品の販売による国を超えた市民同士の協力関係の構築と理解促進、県内38法人によるリサイクル事業	800	

4 ボランティア団体成長支援事業

番号	事業名	団体名	所在地	委託料 (単位：千円)	事業 実施年度
1	発信力強化を軸とした、戦略的ファンドレイジングの支援を目的とする事業	株式会社ファンドレックス	東京都港区	3,600	H25
2	若者定着支援による団体基盤強化および活性化促進事業	特定非営利活動法人 アクションポート横浜	横浜市中区	7,200	H26
3	NPO支援機関の専門力強化および、NPOと支援機関のマッチングによる中長期計画策定支援	関内イノベーションイニシアティブ株式会社	横浜市中区	7,200	H27
4	NPO支援機関の専門力強化および、NPOと支援機関のマッチングによる中長期計画策定支援	関内イノベーションイニシアティブ株式会社	横浜市中区	7,200	H28